



訪問介護事業所の

みんな^で考える 看取りケア

—リーフレット版—



はじめに

「自分らしく生き抜きたい」、「自宅で最期を迎えたい」と考える利用者や家族が増えています。ホームヘルパーの皆さんはそのような願いを実現するために様々な工夫をしながら支援をされていると思います。

ホームヘルパーとして働くためには介護技術、コミュニケーションスキル、状況判断能力、リスクマネジメント、医学的知識等あらゆる知識と技術を有しておかなければなりません。ですが、「自分らしく最期を迎えたい」と考える利用者のニーズに対して訪問介護員養成研修が行われていた時代のテキストから介護職員初任者研修に変わった今も終末期や看取りに関する記述が少なく、十分に学ぶ機会がありませんでした。このリーフレットはそうした「自分らしく最期を迎えたい」と考える利用者と家族のニーズに応えるために支援を実現するためのポイントをまとめたものです。

リーフレットの使い方はこの下に書いてありますが、特定のケースを想定して書いたものではなく、利用者と家族のニーズや状況に応じて検討するためのものです。このリーフレットを活用することで少しでもより良い支援ができることを願っています。

帝塚山大学
心理学部心理学科 講師

博士(社会学) 高橋幸裕

活用方法

- このリーフレットはホームヘルパーとして終末期にある利用者や家族の支援をするためのものであり、特定のケースを想定して作成されたものではありません。リーフレットの使い方は以下のような方法を想定しています。
- 支援の依頼から終了までの共通事項を踏まえつつ、各事業所の状況に応じた形で自由に検討するための視点を示しています。例えば、チームカンファレンスの際に支援のポイントとして議論することや、終末期の利用者や家族に対する支援のためのヒントとして用いる、そして自学自習をする際の資料として用いていただければと思います。

登場人物



中堅ヘルパー
銀河君



新人ヘルパー
みずほちゃん



ベテランヘルパー
さくら先生



事業所代表
富士さん



① 看取りケアを担当するまでに身につけて学んでおきたいこと



利用者さんが最期を迎えるときってどんなことをしたらいいですか?デリケートな問題で難しそう…。

事前に学習しておくのがいいわよ。ホームヘルパー(介護職員初任者研修)や介護福祉士の資格を取った時のテキストを利用するのもいいけれど、最近は看取りやターミナルケアについて書いた専門的な本もおすすめよ。

学習のポイントは

- ① 緊急時の対応方法
- ② ヒトの死とは何か
- ③ 亡くなった後の対応



あと、できるなら看取りまでを想定した研修(座学・ロールプレイ)の機会を設けて学ぶのもいいことね。



③ ケース担当中(利用者・家族に関する共通事項)



実際にケアを開始すると利用者さんや家族に対していろんなことに気を配らないといけないと思うんだけど、具体的にはどんなことに気を配らないといけないですか?



ケアを開始する前には、利用者本人や家族からどんなことに気を付けたらいいのかを確認しておくことね。例えば、発言や行動について避けてほしいこと、こういったことに関しては喜んでもらえるとかね。あと、利用者さんは体調が不安定なことが多いから、救急救命の方法を勉強しておくことも大事だけど、かかりつけ医とよく打ち合わせをして、急変や異常が起きた時に連絡方法や対応方法は確認しておくことよ。



⑤ ケース担当中(家族に関する事柄)



利用者さん家族とのかかわりで気を付けておくことはどんなことですか?



ケアは利用者さんばかりに意識が行きがちだけど、家族も支援対象だということを忘れないようにね。だからこそ、利用者さんの意思を踏まえながらも家族の考えを十分に汲みとることをしておくことが大切ね。そのためには積極的に情報共有をするように会話をする時間や機会を作るようにした方がいいわ。もし、利用者さんと家族の考えが違っているときは、担当者会議を開いてどう対応したらいいのかを検討するのもいいわね。





② 看取りケアを担当することになった場合

今度新しく担当する利用者さん家族から相談されたんだけど、利用者さんがターミナル期に入ってきているそうなんだ。担当チームとしてどんなことをすればいいですか？



まず、ケアプランがニーズに合っているのかを考えることが大事ね。誰がそのニーズを出しているのかを確認すること！次にチーム体制をどうするのかも大事なことよ。



④ ケース担当中(利用者に関する事柄)

利用者さんとかかわりで気を付けておくべきことってどんなことですか？



2つあるわよ。
1つ目は利用者さんの意思を尊重することよ。もちろん家族の意向も大切にしないといけないわ。
2つ目は、どんなことがあっても冷静さを失わないようにすることよ。介護現場では1人で支援することが多いかもしれないけど、あなたには誰かがついてるということを忘れないでね。何かあったら「状況判断」と「連絡」できるような冷静さを持っておくことが大切ね。



⑥ ケース担当終了後

利用者さんのお葬式などが一通り終わりました。介護職としてどんなことをしていけばいいですか？



基本的には事業所内でルールがあるならそれに従うことね。例えば、四十九日が過ぎてから挨拶に行くとか、お手紙を書くこととかね。担当しているケースによってどんな対応方法がいいか、どのタイミングで行うのがいいかは担当者会議で決めるように体制づくりをしておいた方がいいわ。それとお通夜やお葬式に出るかどうか決めておいた方がいいわね。





おわりに

謝辞



今回作成した「訪問介護事業所みんなで考える看取りケア」は、独立行政法人日本学術振興会平成25-26年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究(B):課題番号25780362)「ホームヘルパーによる高齢者に対する看取りの体制づくりと支援のあり方に関する研究」の研究成果に基づいて作成されたものです。

このリーフレットを研究成果物として完成することができましたのは、日本ホームヘルパー協会役員・各支部長の皆様 ホームヘルパー事業所代表者様 ホームヘルパーの皆様、並びにみくにグループ代表の坂本和徳様の多大なるご協力によるものです。また、リーフレットに用いたイラストは帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科2年生の藤岡あかりさんが描いてくれました。描いてくれたイラストは温かみのあるもので、とてもよい仕上がりとなったと思います。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

最後に、ますます高齢社会が進行していく中で介護職の役割は重要になってきます。特に人生の最後をどのように締めくくるのかということはますます重みを増してくると思います。そういった社会の期待に応えるためにも職業としての介護の専門性を高められるよう、介護労働研究者として介護職の皆様と寄り添った研究をしていきたいと思います。

帝塚山大学
心理学部心理学科 講師

博士(社会学) 高橋幸裕



問い合わせ先： takahashi@tezukayama-u.ac.jp

発行年月日： 2015(平成27年)年3月1日

HP： <http://www.kaigoroudou.com>

イラスト： 藤岡あかり(帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科2年生)

編集： 株式会社マイビジネスサービス

この冊子の無断複製および転載をお断りします。

非売品



MEMO



A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.

